

あかつかやま

2012年10月 No. 41



豊川のアユ（サビアユ）

CONTENTS

・特付報イベント	集録告ト	アユも季節を感じるの？ 発見！あかつかやま 夜の水族館・ワクワク工房など ミニブタのおたんじょうび会・ワクワク工房	杉浦篤史 2 4 5 6
----------	------	--	-----------------------

特集



昔からよく言ったもので「暑さ寒さも彼岸まで」という慣用句があります。今年はまさにその言葉がピッタリくるような気候でした。

この特集を書いている今(9月下旬)では昼もずいぶんと涼しく、過ごしやすくなっています。日も短くなり、すっかり秋を感じるようになりました。皆さんこの記事をお読みになっているころには、さらに涼しさも増していくことでしょう。

さて、例年この時期になると少しばかり気に掛かることがあります。それは当館の中流水槽で飼育しているアユ(図.1,2)たちがバタバタと死に始めることです。



図.1 中流水槽のアユ①

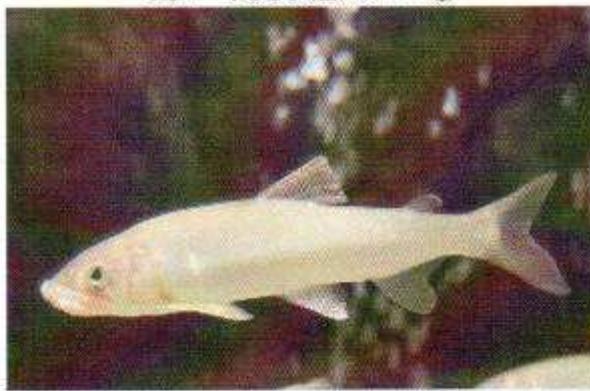


図.2 中流水槽のアユ②

何事か！と思われる方も多いかと思いますが、決して私たち飼育員が掃除やエサやりをサボっているわけではありません。アユはそういう宿命にある魚なのです。

自然の中でくらしているアユたちは「年魚(ねんぎょ)」と言われるとおり、約1年間しか

生きられない魚です。日が短くなり、水温が下がりだすと卵を産む準備を始めます(図.3)。つまりは人間のようにカレンダーを見なくとも、ヒガンバナやアカトンボを見なくとも、おはぎや栗きんとんを食べなくとも、季節が秋であることを体で感じ取り、卵を産むタイミングを計っているのです。その後、全身全霊をかけて卵を産み終えたアユたちは、力尽き死んでしまうのです。

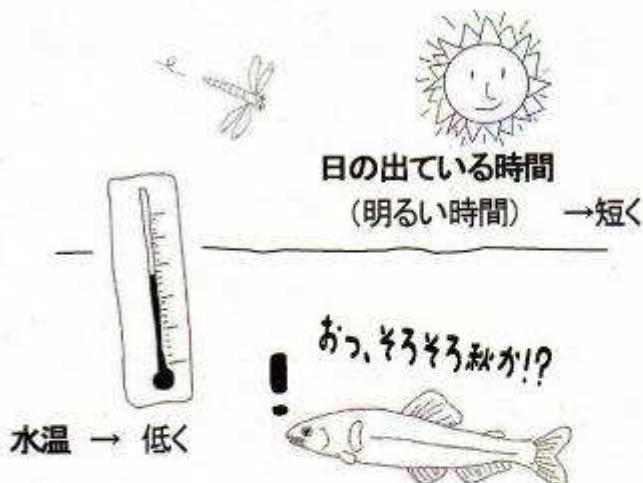


図.3 アユが卵を産むために必要なもの

実はこれは飼育下でも同様で、3月の下旬から、4月の初旬に搬入したアユたちは、当館の水槽のように水温が年間を通してほぼ一定で、太陽の光などほとんど入らないようにも見える環境でも見事にそれを感じ取ります。秋になると体の色が黒っぽくなり[サビアユ(図.4)]、産卵行動が見られるようになります。その後次第に痩せだし、9月末頃から死亡数が増加し、11月頃にそのピークを迎えるというのが常でした(表.1)。

そうなってしまうと困るのは展示の方で、必然的に秋～冬の間は他の魚の数を増やすなどして、水槽の中が寂しくならないように対応しなければなりません。

それならば単純に、アユの寿命を延ばしてしまおうというのが後述の方法です。それは日が短くなりはじめる頃から、元々水槽に

設置してある照明(図.5)をつけておく時間を長くしてやることで、アユたちを勘違いさせ長生きさせてしまおうというものです。当館ではこの飼育方法を3年前から取り入れてきました。実は養殖場では良く行われている方法で、アユを飼育展示している水族館でも一般的に行われています。



図4 サビアユ(体が黒く変色したアユ)
上2匹がオス、下はメス(卵で腹が膨らんでいる。)

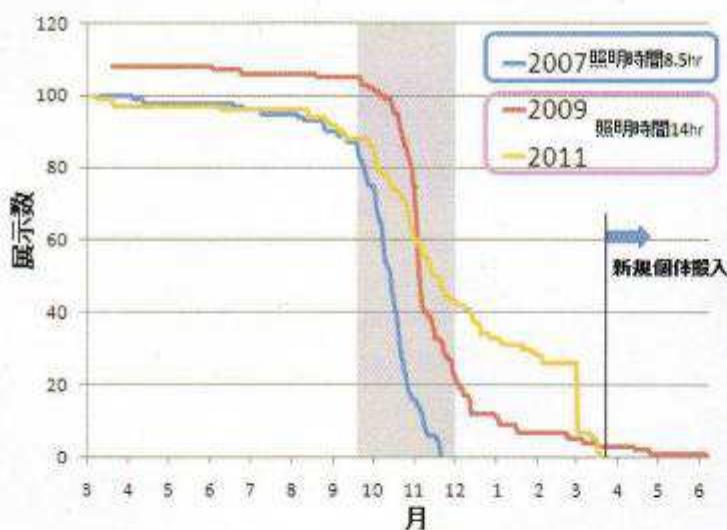


表1 年度別アユの展示数の動向



図5 水槽照明(ハロゲンライト)

この方法を行うようになってからは、毎年数匹のアユが次の春を迎えていました。その結果1年中、いつ来ていただいてもアユをご覧いただけるようになりました。

しかし、それと引き換えに、当然デメリットも生み出しました。秋になつてもサビアユが見られなかつたり、産卵行動を見ることができなくなつたりしてしまつたわけですから。

より自然に近い姿を観察できた方がよいのか、それとも常に見ることができる種数が1つでも多い方がよいのか、水族館としてどちらがいいのか議論が必要でしょう。

また今年は水槽の冷却装置が思いがけず故障し、夏に水温が一時上昇するというトラブルがありました。なんとかすぐに修理できましたがこの水温の変化が、どうやら悪影響を及ぼしているようです。水温が上昇～下降したことアユたちがこれを「夏から秋に移つた」と感じ取つてしまつたようです。

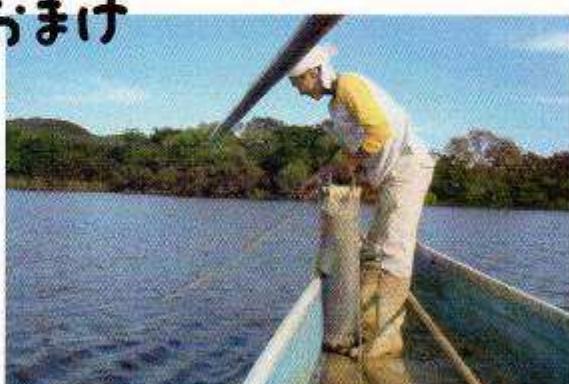
そのために、今までにない早さで8月上旬から死亡する個体が出始めています。もしかすると、今年度はあまり良い結果が望めないかもしれません。

このようにまだまだ試行錯誤の状態ですが、今後、よりよい管理方法を模索し、それを確立していきたいと思っています。

今回とりあげましたアユの周年展示については、来年度発行予定の園報で詳しくご紹介したいと考えています。

学芸員 杉浦篤史

おまけ



取材のため、アユの刺し網漁に同行させてもらいました。

於：豊川海倉橋上流

付録 発見! あかつかやま

しょくぶつ編 ^{へん} ~どんぐり~

あかつかやまこうえんで □のなかの どんぐりをすべてみつけて ゴールしよう!

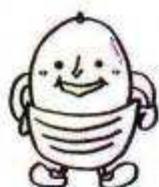
クヌギ



おおきさ: 2~3センチぐらい

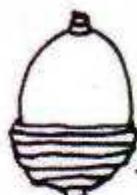
かたち: まんまる

かくと: ライオンのたてがみ
とっているよ。
チエック



カシは、11がつ
ごろからみつけ
られるよ!

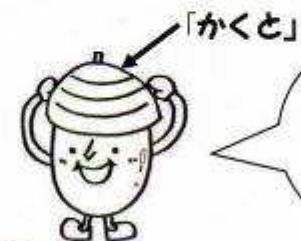
シラカシ



おおきさ: 1.5センチぐらい

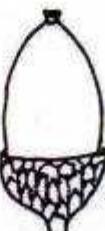
かたち: たまごがた

かくと: よこしまに
なっているよ。
チエック



これは、「かくと」っ
ていうんだ。
どんぐりをまもって
くれているよ。

コナラ



おおきさ: 1.5~2センチぐらい

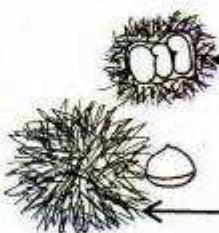
かたち: ほそながい

かくと: ヘビのうろこの
ようになっているよ。
チエック



クヌギ・コナラ・クリは、9がつおわりごろからみつけられるよ。

クリ



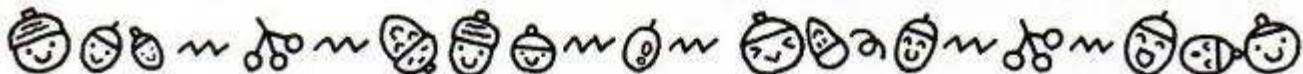
おおきさ: 2~3センチぐらい

なかに3つはいって
いることがおおいよ。



かくと: チクチクしてウニ
とっているよ。
チエック

このほかにもいろんなどんぐりがあるよ。ぜひ、さがしてみてね。



報告

夜の水族館

2012年8月24日(金)、25日(土)、26日(日)

3日間で67名が参加され、夜の暗い水族館の中で観察をしました。今回は、新しくスポットガイドも取り入れ、昼と夜のいきものたちの動きの違いなどをよりわかりやすくしてみました。



ワクワク工房 「かんたんおりがみ」 2012年9月22日(土・祝)

赤塚山公園で見られる、「どんぐり」と「ブタ」をおりがみで作りました。参加者は116名と多く、作品は10月8日まで、ぎょぎょランド1階のロビーで展示しました。



折るや～♪♪



見本はこれだ！まねしてね！

上手にできました☆

モルモットがうまれたよ！



9月に生まれた赤ちゃんたちは、元気にすくすく育っているよ。



「ママ～、おっぱいちょうだい」



「えさだってたべられるもん」



「どっちがおおさい？」

「さようなら、ハクくん」



8月25日にヤギのハクくんが天国へと旅立ちました。とても短い間でしたが、かわいがつていただきありがとうございました。



イベント

ミニフタのおたんじょうび会

ミニフタの「ミルク」が11月10日、「ココア」が12月1日に2歳になります。飼育員特製ケーキでいっしょにお祝いしませんか？ふれあいもあるよ。

日時：ミルク 11月10日（土）
ココア 12月 1日（土）
～両日とも午前11時から正午～

会場：アニアニまるある
参加無料
当日会場までお越し下さい。



ワクワク工房「落ち葉でしおりを作ろう」

赤塚山公園で集めた落ち葉を使ってしおりを作ります。

日時：2012年11月24日（土）

午後1時30分～3時

1回目 午後1時30分～2時

2回目 午後2時～2時30分

3回目 午後2時30分～3時

会場：ぎよぎよランド2階創造の部屋

定員：各回40人

当日午後1時15分からぎよぎよランド2階創造の部屋で先着順に受け付けます。参加無料

行事・イベントの報告

平成24(2012)年8月～

平成24(2012)年9月

- 8/1 サマースクール第2回 10人
- 8/2 市内教員初任者研修 3人
- 8/5 カブトムシ大相撲大会
- 8/6 市内教員初任者研修 3人
- 8/8 サマースクール第3回 9人
- 8/9 市内教員初任者研修 5人
- 8/10 大村小学校鈴木先生 研修会
- 8/12、13、18、19 岐阜大学インターンシップ 1人
- 8/6、13、18、20、27 バックヤード見学 計97人
- 8/24、25、26 夜の水族館 計67人
- 8/25、29、31 市内中学校教員10年研修 2人
- 9/5 展示生物採捕 新城市
- 9/14 カリオン12会 魚の話 20人
- 9/22 ワクワク工房 計116人
- 9/27 豊橋技術科学大学軽音楽部
じゃんだらロックフェス
- 豊川ライオンズクラブ清掃奉仕活動

編集後記

左の報告欄にも記しましたが、去る8月10日、豊橋市立大村小学校の鈴木先生から「子供たちに対する話し方、引き付ける方法」について飼育スタッフを対象にお話を頂きました。鈴木先生は昨年、当園で教員10年研修をされた先生です！そんな現役バリバリの経験豊富な先生からのお言葉は共感したり、感心したり、ためになることばかりで大変勉強になりました。

今後の「ふれあい」や様々なイベントで先生から教わったことを生かしていこうと思っています。このようなご縁に感謝です。ありがとうございました。

杉浦篤史

動物取扱業に関する表示

氏名又は名称：豊川市長 山路 実	登録番号：動物第119号
事業所の名称：豊川市赤塚山公園	登録年月日：平成18年9月26日
事業所の所在地：愛知県豊川市市田町東堤上1-30	有効期限の末日：平成28年9月27日
動物取扱業の種別：展示	動物取扱責任者：前田 民男

編集・発行

あつかかやま No. 41 2012/10/15

豊川市赤塚山公園

〒442-0862 豊川市市田町東堤上1-30

TEL(0533)89-8891 FAX(0533)89-8892

次号は 12月15日発行です。